

ガット弦と1830年製ローゼンベルガーで紡ぐ、楽聖の崇高なソナタ

佐藤俊介^(ヴァイオリン) & スーアン・チャイ^(フォルテピアノ)

ベートーヴェン： ヴァイオリン・ソナタ全曲

ベートーヴェンが遺した10曲の「ヴァイオリン・ソナタ」は
古典派音楽の最高傑作のひとつであり、
ヴァイオリニストにとっては究めなければならない最も高い峰である。
今回、10月9日(木)・10日(金)に浜離宮朝日ホールで全10曲の演奏に挑む
佐藤俊介とスーアン・チャイに抱負をうかがった。



ガット弦とフォルテピアノが 創り出す新たな風景

—— おふたりはすでにベートーヴェンの「ヴァイオリン・ソナタ」全曲を録音されていて、全曲の演奏会もなさったことがあると伺いました。

佐藤俊介 録音は2023年から2024年にかけて3回のセッションで行いました。全曲の演奏会はすでに2回経験していて、いずれも1日で10曲全部を弾くというプロジェクトでした。この10月の浜離宮朝日ホールでの全曲演奏会は2日間、3回に分けて演奏しますので、一晩眠る程度の余裕があることは嬉しいですね。

—— ヴァイオリニストは気軽にそんなことを言っていますが、ピアニストは大変なのでは？

スーアン・チャイ 実は録音やコンサートのためにリハーサルをすることのほうが大変なのです。たったふたりきりで、小さな空間で緊張感の中、リハーサルをしている方が大変です。でも、演奏会では常に聴衆の方々の熱気や関心を感じながら、より解放されたコンサートホールの空間で演奏できるので、とても助けられるのです。

—— それは新しい発見でした(笑)。さて、浜離宮朝日ホールでの演奏会では、もちろんガット弦を張ったヴァイオリンとフォルテピアノの組み合わせとなります。

佐藤 ピアニストにとって、と言うよりも、フォルテピアノにとって大変なのは、おそらく短い期間でベートーヴェンのヴァイオリン・ソナタのような規模が大き

く、ダイナミクスも幅広い作品を演奏することを制作当時は想定していなかったことだと思います。以前の全曲演奏会では、ピアノの調整に時間を要したり、様々なことがありました。だから、これはふたりだけの演奏会ではなく、フォルテピアノの調子を見守り続ける調律師の方も加えた共同作業に基づいた演奏会だと思ってください。

—— 確かに、重要なポイントですね。今回は、1830年製のローゼンベルガーのフォルテピアノをお使いになるそうですが。

チャイ 録音の時には第1～9番までは1800年製、第10番には1820年製のミハエル・ローゼンベルガーを使いました。フォルテピアノは現代のピアノよりも鍵盤数が少なく、大半が5オクターヴから5オクターヴ半ですが、第10番では6オクターヴの音域が必要なので、そうした選択をした訳です。今回は1台で全部の作品を演奏できることを考えて、日本にあるローゼンベルガーを選びましたが、このローゼンベルガーはミハエルの甥っ子の制作したものですので、すごく近い関係の楽器と言えると思います。

全10曲を3回に分ける アイデア

—— ところで全10曲をどんな順番で演奏するのも、難しい問題だと思います。第1～10番まで一気に演奏するような無謀なプランもあり得ますが。今回は、どんな風に3回の公演に分けようと考えられたのでしょうか？

佐藤 ベートーヴェンのヴァイオリン・ソナタの場合、皆さんがよく耳にする有名な作品があります。それをひとつの回に集めようと、どうしても他の回が“薄く”感じられるかもしれない、とまず思いました。しかし、ベートーヴェンの場合、それほど有名で無い作品でも、それぞれに難しさや特徴があり、どれも簡単に演奏できる訳ではないのです。例えば小さめの規模の作品でも、キビキビとした小回りの良さを出さなければいけない作品もあります。自動車で言えば、そうした作品は軽自動車のような機敏さを示さなければいけないし、規模の大きな作品ではその大きさに相応しいサイズ感が必要です。また、同じ調が重ならないようにとか、第4番イ短調、第7番ハ短調というふたつの短調作品を一緒に置かない方が良くないかと、様々な考えを組み合わせた結果が今回の3回のコンサートの組み合わせとなりました。

—— 僕はひねくれ者なので、第4番とか第8番とかが好きなのですが、佐藤さんは個人的に好きな作品はありますか？

佐藤 第6番がとても好きですね。ベートーヴェンもちよっとひねくれ者と言うか、一筋縄ではいかない性格だったと思うのですが、この第6番はとても素直にベートーヴェン自身の心を表現している作品だと思うし、好きな作品です。

—— 第6番は2回目のコンサートで演奏されますね。その回の最後に第9番が入っていますが、表記が「クロイツェル／ブリッジタワー」となっています。通常

は「クロイツェル」と表記されることが多いですね。

チャイ それは私が説明したいと思います。まず「クロイツェル」という歴史的に知られたサブタイトルは、あくまでもベートーヴェンがこのソナタを献呈したフランスの名手の名前で、作品の創作自体に彼が影響を与えた訳ではないのです。この作品にインスピレーションを与えたのはジョージ・ブリッジタワー（1778あるいは1780～1860）と言うポーランド出身のヴァイオリニストでした。彼は西インド諸島出身の父親とドイツ人の母親の間に生まれ、ベートーヴェンと知り合った当時は、プリンス・オブ・ウェールズ、つまり英国皇太子の庇護を受け、彼に仕えていた若き才能あるヴァイオリニストでした。ベートーヴェンと知り合うとふたりはすぐに意気投合し、毎晩パーティに一緒に出かけるほどでした。第9番は、1803年に書かれ、すぐに初演されましたが、その演奏会までには作品の全部ができておらず、ブリッジタワーはベートーヴェンの、おそらくかなりきたない手書きの楽譜を初見で演奏しました。第1楽章が終わった時、ベートーヴェンは感激して、彼を抱きしめたとも言われています。その後、1週間ほどが過ぎ、どういう理由かはいまだにはっきりしないのですが、ベートーヴェンとブリッジタワーは喧嘩別れをしてしまい、本来はブリッジタワーに献呈されるはずの完成した作品は後にクロイツェルに献呈されたという訳です。それを踏まえて、今回はあえて、ベートーヴェンの創作意欲の元となったブリッジタワーの名前を付け加えて、この作品を聴衆の皆さんに改めて聴いていただきたいと思ったのです。

—— 第6番もイ長調、第9番もイ長調で

すね。

チャイ 第9番の初演の時に、作曲が間に合わなくて、まだ出版されていなかった第6番のフィナーレを代用した話は有名だと思いますが、偶然にも同じイ長調で良かったと思います（笑）。とて

も素敵な、そしてエキサイティングなコンサートだったでしょうね。すでに初演から200年も過ぎていますが、その事実をもう一度、思い出してみたいですね。

—— きっと2回目はエキサイティングなコンサートになるでしょうね。いや、もちろん全部の回がそうですが、ブリッジタワー自身の作品というのは残っているのでしょうか？

佐藤 実はかなり研究してみたのですが、資料自体が少ないようで、いくつか残っているようですが、まだ確実な情報が無いので、そこは日本の音楽学者の方々にも協力して頂きたいと思っています。

ベートーヴェンの偉大さと斬新さ

—— 昨年にはブラームスのヴァイオリン・ソナタ全曲演奏会を浜離宮朝日ホールでおこないました。それも非常に興味深い演奏だったのですが、今回のベートーヴェンのソナタ全曲演奏会を通して、後の作曲家たちに大きな影響を与えたベートーヴェンの音楽の魅力を体験したいと思っています。

佐藤 大きなテーマですが、一つ言える



©JUNICHIRO MATSUO

ことは、ベートーヴェンが当時の限界、例えば作曲家だけでなく、聴き手であった貴族たちや優れたアマチュア音楽愛好家たちの好みなどを超えて、新しい世界を開こうとしていた点ですね。

チャイ ベートーヴェンの使っていたフォルテピアノを研究すれば、その時代の楽器の変化がいかに速かったかが分かると思います。特にイギリスでのピアノの発展はめざましかったですね。そうした時代に生きた人として、ベートーヴェンは常に革新を目指していました。その結果として、後のロマン派につながる新しい和声の発見や、音楽の自由度を高めることに大きな役割を果たしました。

佐藤 当時の貴族は、音楽が好きでも、「そんな低級なものに関わってはいけな。音楽を仕事にしてはいけな」と言われることが多く、モーツァルトももちろんそれを踏まえて作曲をしていたと思うのですが、そうした社会的な規範みたいなことを無視して、音楽を書き始めたのがベートーヴェンだと思うのです。そんな特別な存在としてのベートーヴェンを表現することができたら嬉しいですね。

—— ありがとうございます。

聞き手／片桐卓也（音楽ライター）



© Marco Borggreve

© Marco Borggreve

佐藤俊介 & スーアン・チャイ

ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ全曲

10.9 [木] ~ 10 [金] 《全3公演》 浜離宮朝日ホール

全席指定（税込）：一般 各5,000円 U30 各2,000円 3公演通し券12,000円

10.9 [木] 19:00 第1番、第2番、第4番、第5番「春」

10.10 [金] 14:00 第3番、第6番、第9番「クロイツェル／ブリッジタワー」

10.10 [金] 19:00 第7番、第8番、第10番

チケット
好評販売中！

朝日ホール・チケットセンター 03-3267-9990（日・祝除く 10:00～18:00）

朝日ホール・チケットセンター ほか 各プレイガイドにて販売